

申請必要書類について

必ず内容を確認のうえ、各書類をご用意ください。

申請受付期間：2024 年 4 月 1 日 ～ 6 月 30 日（消印有効）

申請書類送付先：〒112-0002 東京都文京区小石川 2-22-2 和順ビル 2 階

一般社団法人日本糖尿病学会 宛

※ 送付の際、封筒に「**専門医申請書類在中**」と記載してください

※ 事務局への持参はご遠慮ください

◆ 再申請の方（一部書類免除）：再申請【○(必要)】【×(不要)】

再申請では、提出必要書類が一部免除されます。ただし、一部免除の対象となる期間は、受験した当該年度に続く 2 年間です。

2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度
初回申請	一部免除対象	一部免除対象	すべて再提出	一部免除対象	一部免除対象
-	初回申請	一部免除対象	一部免除対象	すべて再提出	一部免除対象

なお、前年度に受験を見送った場合はカウントされません。

例：2022 年度に初回申請し、2023 年度の再申請時に受験見送りを希望した場合

2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度
-	初回申請	<受験見送り>	一部免除対象	一部免除対象	★再提出

◆ 前年度に受験を見送った方：受験見送り【○(必要)】【×(不要)】

受験見送り希望のご連絡タイミングにより必要書類が異なります。なお、受験料の振込用紙は受験案内に同封となるため、書類審査がない場合も 9 月以降のご案内となります。

申請必要書類一覧	
a. 専門医認定申請書 兼 履歴書	i. 医師免許証のコピー
b. 教育施設研修終了証明書	j. 認定医証/専門医証のコピー
c_01. 研修カリキュラムチェックリスト	内科は下記いずれか：
c_02. 推薦書および経験症例一覧	<旧制度> [日本内科学会 認定内科医証]
d. 業績目録（および抄録等のコピー）	または[日本内科学会 総合内科専門医証]
e. 症例報告	<新制度> [内科専門医認定証または認定証明書]
f. 症例報告提出確認書	小児科：[小児科学会 小児科専門医証]
g. 症例記録	k. 受験票発送用封筒・受験票用の写真
h. 糖尿病患者教育活動に関する報告書 （活動を客観的に証明する資料を添付）	

入力可能な P D F は Adobe Acrobat Reader で作成してください

最新の Adobe Acrobat Reader は、下記ページより無償でインストールできます

▶ <http://get.adobe.com/jp/reader/>

※ ダウンロードの際、オプション（その他の追加機能、拡張機能等）は不要です

※ インストール後、Adobe Acrobat Reader を起動し「ファイル」→「開く」で症例報告用紙 PDF ファイルを選択することで、入力が可能になります

※ Adobe Acrobat Reader 以外の操作では入力・印字に不具合が発生します

a. 専門医認定申請書 兼 履歴書 再申請【○】 受験見送り【○】

- PDF に直接入力可能です。
- 印刷後、申請者印を「所定欄」に必ず押印してください。
- 勤務先には申請時の勤務先を入力してください。糖尿病学会の会員情報と異なる場合は、糖尿病学会 My Page から必ず変更を行ってください。
- 改姓があり、糖尿病学会の会員情報を変更されていない場合は、戸籍抄本等改姓を証明するものを提出してください。
- ②には、初期研修から【<旧制度>認定内科医】【<新制度>内科専門医】【小児科専門医】受験資格取得までの学歴・職歴を入力します。
- 新専門医制度対象の先生は、②の連動研修にチェックをしてください。
- ④には、糖尿病臨床研修を開始してからの学歴・職歴を入力します。新専門医制度対象の先生は、内科との連動研修期間（②と重複する期間）も含めて入力してください。

② 初期研修から基本領域研修期間の学歴・職歴 医学部卒業から認定内科医もしくは内科専門医、小児科専門医受験資格取得のための学歴・職歴を入力する			下記「連動研修」は 新専門医制度対象者のみ、 連動研修期間にチェックを入れてください。
研修期間（西暦）	研修施設名	研修歴	
2017 年 4 月 1 日～ 2019 年 3 月 31 日	■●病院	2 年 0 月	
2019 年 4 月 1 日～ 2020 年 3 月 31 日	××病院	1 年 0 月	<input type="checkbox"/> 連動研修
2020 年 4 月 1 日～ 2021 年 9 月 30 日	●●病院	1 年 6 月	<input checked="" type="checkbox"/> 連動研修
2021 年 10 月 1 日～ 2022 年 3 月 31 日	××病院	0 年 6 月	<input checked="" type="checkbox"/> 連動研修
年 月 日～ 年 月 日		年 月	<input type="checkbox"/> 連動研修
③ 認定内科医、内科専門医、小児科専門医 ※ 【育児】もしくは【介護】による時短勤務を含む場合はチェックをしてください。			
④ 糖尿病専門医受験のための学歴・職歴 ③以降の、日本糖尿病学会認定の教育施設での研修について			<input type="checkbox"/> 時間短縮勤務有り
研修期間（西暦）	研修施設名（必ず、認定されている診療科名まで入力すること）	研修歴	事務局記入欄
2020 年 4 月 1 日～ 2021 年 9 月 30 日	●●病院糖尿病内科	1 年 6 月	研修期間は月単位で 自動計算され、合計が 表示されます。
2021 年 10 月 1 日～ 2022 年 3 月 31 日	××病院糖尿病・内分泌代謝内科	0 年 6 月	
2022 年 4 月 1 日～ 2023 年 3 月 31 日	▲▲病院糖尿病センター	1 年 0 月	
年 月 日～ 年 月 日		年 月	
教育施設名を記載してください。 ※ 診療科名まで必要です。		年 月	
		年 月	
		年 月	
研修歴合計		3 年 0 月	

※ 研修歴に【育児】もしくは【介護】による時間短縮勤務を含める場合について

- 時間短縮勤務期間中の勤務状況がわかる在職証明書（a_02_在職証明書）をご提出ください。
時間短縮勤務期間を含む研修歴の場合は、最低 1 年間は「常勤」としての勤務が必要です。
- 「常勤」は、1 日の勤務時間 7 時間 45 分、週 4 日以上を原則とし、「常勤とみなす育児(介護)中の時間短縮勤務」の定義は、週 4 日以上かつ 20 時間以上を目安とします。
- 時間短縮勤務を研修歴に含める場合は時間短縮勤務期間の稼働時間を計算します。また、研修歴は 3 年より多く(教育関連施設を含める場合は 4 年より多く)必要になります。研修歴の確認については、日本糖尿病学会事務局：専門医担当まで照会ください。

b. 教育施設研修終了証明書 再申請【×】 受験見送り【×】

- 複数の教育施設で研修を行っている場合、教育施設ごとに提出が必要です。
- 施設の区分によって書式が異なりますのでご注意ください。
- 該当の研修期間に在籍している研修指導医のサインが必要です。
- 申請者の異動や研修指導医の異動が発生した場合は、期間を分けて記載してください。
- **履歴書④の研修歴と一致するようにしてください。**

c_01. 糖尿病専門医研修カリキュラム 項目チェックリスト 再申請【○】 受験見送り【×】

- 2019 年度の糖尿病専門医の申請より、（研修開始時期に関わらず）すべての申請者において「研修カリキュラム チェックリスト」の提出が必要となります。➤ [糖尿病学会ホームページに掲載](#)
- 研修指導医欄は必ず自署が必要です。
- 複数施設で研修を行った場合は、最終施設から提出してください。

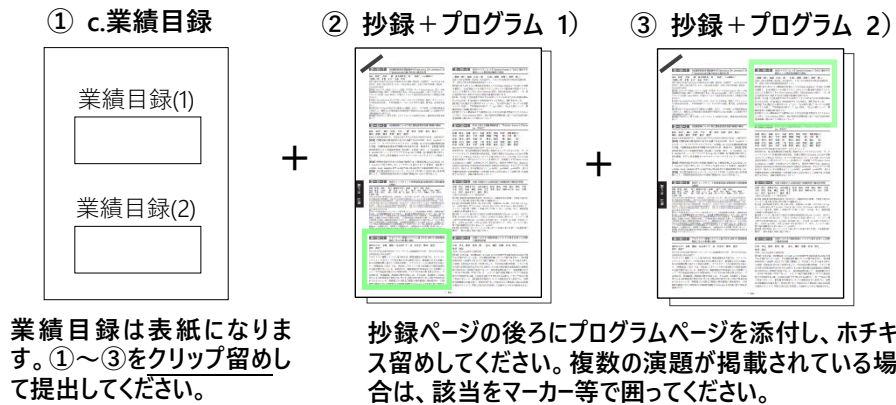
c_02. 推薦書および診療経験を必須とする症例数一覧 再申請【○】 受験見送り【×】

- 研修指導医欄は必ず自署が必要です。
- 2015 年 4 月より前に糖尿病専門研修を開始された方で「診療経験を必須とする症例数」が糖尿病専門研修期間中に到達目標数に達していない場合は、認定教育施設以外の施設での経験症例数を含めていただいても構いません。
- 複数施設で研修を行った場合は、最終施設から提出してください。
➤ [糖尿病学会ホームページに掲載](#)

d. 業績目録 再申請【×】 受験見送り【×】

- PDF に直接入力可能です。
- 印刷後、申請者印を所定欄に必ず押印してください。
- 業績目録には「糖尿病臨床に関する筆頭者としての学会発表または論文発表」（施行細則に定められたもの）を 2 編記載し、それ以上は記入しないでください。
- 学会発表には抄録とプログラムのコピー（複数掲載されている場合は、該当の演題を囲ったもの）、論文発表には別刷り（コピーも可）を添付してください。いずれも申請者名にマーカーしてください。

例：学会発表（2 編）の提出



- 発表は一般演題・誌上発表・ポスターセッションとします。
- 2020 年 12 月 6 日に業績提出に関して規則改訂を行いました。以下のとおりです。
 - ※ 特定の薬剤・器機の有用性・安全性などに関する演題発表は提出することができます。
 - ※ 同じ症例を使った発表は異なった集会で発表しても同一発表としますが、学会発表と論文が同一内容であっても別の業績として提出することができます。

e. 症例報告 再申請【○】 受験見送り【×】

- PDF に直接入力可能です。
- Adobe Acrobat Reader 以外での操作では入力確認機能が使用できません。また、印字等の不具合が発生するため、必ず Adobe Acrobat Reader で作成してください。
- 症例報告は、主治医として外来管理中もしくは申請から 6 か月以内に診療した外来症例（内科：30 症例、小児科：5 症例）を提出してください。
- 提出要件等、症例報告の作成についての詳細は、「e_【必読】症例報告に関する注意事項（専門医申請用）.pdf」を必ず確認してください。

f. 症例報告提出確認書 再申請【○】 受験見送り【×】

- 各症例について必須症例に該当するかプルダウンから選択してください。該当しない場合は、「該当なし」を選択してください。小児科申請の場合は必須症例がないため、5 症例まで「該当なし」を選択しても差し支えありません。
- 申請から 6 か月以内の症例であるかプルダウンから選択してください。
- 症例報告の表紙として、左上にホチキス留めをお願いします。

症例番号	必須症例 ※内科のみ 要件が重複する場合は備考欄に入力すること	6か月以内の症例	備考
1	該当なし	該当する	
2	該当なし	該当する	
3	該当なし	該当する	
4	該当なし	該当する	
5	「増殖前」以上に進展した糖尿病網膜症合併例	該当する	糖尿病性腎症：4期
6	「増殖前」以上に進展した糖尿病網膜症合併例	該当する	
7	病型：1型の症例	該当する	

複数の要件が重複している場合は1つ選択し、備考欄に追記ください。

g. 症例記録 再申請【×】 受験見送り【×】

- PDF に直接入力可能です。
- Adobe Acrobat Reader 以外での操作で、不具合が発生する可能性があります。
- 印刷後、申請者印を「所定欄」に必ず押印してください。
- 症例の受持期間に在籍している研修指導医の記名・捺印が必要です。
- 提出要件等、症例記録の作成についての詳細は、「g_【必読】症例記録に関する注意事項（専門医申請用）.pdf」を必ず確認してください。

患者氏名(イニシャル): 姓 T 名 T 年齢: 40 性別: ☒ 男 ☐ 女

教育施設名および診療科名: □□□□病院 糖尿病内科

入院: 2017 年 8 月 2 日 退院: 2017 年 8 月 27 日

教育施設名を記載してください。
※ 診療科名まで必要です。

入退院期間の研修施設が、研修歴と一致している必要があります。

h. 糖尿病患者教育活動に関する報告書 再申請【×】 受験見送り【×】

- PDF に直接入力可能です。
- 糖尿病患者教育に関する活動内容を客観的に示す資料を添付のうえ提出してください。
- 糖尿病専門医の新規認定申請にあたっては、糖尿病教室の担当は研修の一環として必須です。研修期間内に、教育施設で糖尿病教室を担当したことを証明する資料を提出してください。
例：教育施設名、申請者名の記載がある 院内掲示物/スケジュール表/使用しているスライド 等
- 同じ項目を複数回もしくは異なる項目を複数種類提出してください。詳細は、[日本糖尿病学会専門医制度規則解説](#) を参照ください。

i. 医師免許証のコピー 再申請【×】 受験見送り【×】

- 医師免許証のコピーについてのみ、一部免除期間後の再提出の場合も提出不要です。

j. 認定医証/専門医証のコピー 再申請【○】 受験見送り【○】

- 認定期間内のものを提出してください。
- 新専門医制度対象者（内科）で 2024 年度に内科専門医資格認定試験を受験される方は、必ずその旨を記載した別紙を作成して同封してください。内科専門医資格認定試験後、日本専門医機構発行の認定証の写しや日本内科学会発行の証明書の提出をお願いします。

k. 受験票発送用封筒・受験票用の写真 再申請【○】 受験見送り【○】

- 受験票発送用封筒は長 3 サイズ(119×235mm)でご用意いただき、宛先を明記してください。また、簡易書留代として 434 円切手を貼ってください。
- 提出後に住所変更等が発生し送付先に影響がある場合は、日本糖尿病学会事務局：専門医

担当までご連絡ください。

- 受験票用の写真(横 3cm×縦 4cm)は、申請書に貼付の写真と同様のものを同封してください。
- 前年度に受験見送りを希望された方で受験票を受け取っている方は、受験票発送用封筒・受験票用写真の再提出が必要です。
- 前年度に受験見送りを希望された方で受験票を受け取っていない方は、受験票用写真のみ必要です。ただし、受験票発送用封筒に記載の宛先に変更がある場合は再提出してください。その場合は、切手の貼付は不要です。

その他

- 審査料入金については「01_第 35 回専門医試験申請要項_内科・小児科.pdf」をご確認ください。
- 審査料の振込控えは必ずご自身で保管してください。前年度に受験見送りを希望された方は、審査料の振込は不要です。
- 書類送付の際は簡易書留等を使用し、書類の到着確認はご自身でご対応いただくようお願いいたします。
- 書類審査で受験資格有りと認められた場合に、受験票と試験に関する案内及び受験料払込用紙を送付します。
- 申請書類は受験結果にかかわらず返却いたしません。返却希望の場合は、申請書類提出の際、返却用封筒（角形 2 号、740 円分の切手：簡易書留代 を貼り、宛先を明記）を同封してください。
- 申請書類に不備があった場合は、お電話・郵送、糖尿病学会 My Page にご登録のメールアドレスもしくは履歴書記載のメールアドレスへご連絡いたします。
- 新専門医制度対象者(内科)で 2024 年度に内科専門医資格認定試験を受験される方は、内科専門医に認定されなかった場合、糖尿病専門医試験の結果に関わらず申請要件を満たしませんのでご注意ください。なお、審査料・受験料は返還いたしません。予めご了承ください。
- 照会・修正が入る場合があるため、各書類のデータは必ず PC 等に保存し、削除しないようにお願いします。

専門医申請についてのお問い合わせは、日本糖尿病学会事務局：専門医担当までご連絡ください。
学会 HP の[問合せフォーム](#)からは「専門医、指導医、教育施設、研修についてのお問合せ」を選択してください。